

<p>小学校名 呉市立昭和西小学校</p>	<p>指導者名</p>
<p>学年 第1学年 教科等 国語科</p>	
<p>単元・内容 「のりものずかんをつくって、2年生によんでもらおう『いろいろなふね』」</p>	
<p>検索キーワード 文章の内容を理解することが難しい。</p>	
<p>○ 児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の内容を理解することができにくい。 問われていることに対して、その答えを、本文から正しく書き抜くことが難しい。 <p>○ ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 事柄の順序に気を付けて、内容の大体と文章の構成を読み取ることができる。 乗り物の「役目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉や文を見付けながら、本文を読むことができる。 <p>○ 手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> スリットを使い、文のまとまりを意識させるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> スリットを用いて、周りの情報をかくして、文のまとまりを意識させる。 観点（「役目」「つくり」「できること」）を赤、青、緑で色分けする。 <ul style="list-style-type: none"> 教科書の本文を囲んだり、色別シールを貼ったりして、視覚支援を行う。 また、ワークシートも同じ色で囲み、どこから書き抜けばよいのかが明確になるようにする。 ヒントカードをもとに、「役目」「つくり」「できること」を見付けさせるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> キーワードを書いたヒントカードを配付する。 観点ごとに色分けしたマス目のワークシートを準備する。 <ul style="list-style-type: none"> マス目のワークシートを使用し、観点に沿って、大事なことを正しく書き抜くことができるようにする。 観点ごとに色分けして、視覚支援を行う。 「のりもの図鑑」を作る際にも同じワークシートを使用し、パターン化する。 <p>○ 児童の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> 問いに対する、答えとなる大事な言葉を正しく抜き出すことができた。 観点ごとに色分けし、ワークシートに記入するということをパターン化することで、乗り物の「役目」「つくり」「できること」を見付け、ワークシートにまとめることができた。 	

